

史料編纂所講演会のご案内

関ヶ原の戦いと直江兼続

—直江状の真偽について—

日時 2009年11月14日(土) 14:00~15:00
会場 福武ホール地下1階 史料編纂所大会議室



講師 山本博文教授

「直江状」とは、会津120万石の領主上杉景勝の家老直江兼続が、徳川家康から謀反の疑いをかけられたことに反論した手紙です。上杉の正当性を主張し、政治を思うままにしていた家康に皮肉を投げかける痛快な文章で、天下分け目の決戦である関ヶ原合戦の原因になったとも言われます。歴史学界では古くから偽文書説が有力ですが、果たしてそうなのでしょうか。本講座ではその真偽に迫ります。

会場の都合上、まことに勝手ながら先着70名様に限らせていただきます。
参加申し込みフォームから、またはFAX(03-5841-5956)にてお申し込みください。その際、ホームカミングデイ講演会への申し込みである旨を明記し、お名前・ご住所・E-mail アドレスまたはFAX番号をお知らせください。ご来場いただける方には、葉書でご連絡いたします。当日はその葉書をご持参のうえ、会場までお越しください。

お問い合わせ先：〒113-0033 文京区本郷7-3-1 東京大学史料編纂所 事務室
TEL 03-5841-5997
(電話でのお申し込みは受け付けておりませんのでご了解ください)